



みんなの暮らしを支える

『乗りもの』



これから雪深い冬を迎え、ちょっとした移動にも徒歩や自転車の利用ができず、玄関先から目的の場所まで直接移動できるタクシーを利用することが多くなります。

昨年の冬はタクシーを呼んだときに「しばらく待っても来ない」などの経験をされた方がいたのではないのでしょうか。また、今年の冬のタクシーを心配されている方もおられるでしょう。

冬になるとニセコひらふ地区にたくさんの国内外のスキー観光客が訪れます。彼らは自家用車がなく、不慣れな地域のため、タクシーが“確実な移動手段”。昨年の冬は過去最高の外国人観光客（延べ 22.8 万人）を迎え入れたので、これまでにないほどタクシーが利用され、一時的に利用しづらくなったと考えられます。

一方で、皆さんの暮らしを支える乗りもの（公共交通）はタクシーだけではありません。路線バスや JR など町内には乗りものがたくさんあり、目的に応じて使い分けることで、私たちの冬の暮らしがもっと快適になるでしょう。

今月号は、皆さんの暮らしを支えるとともに、多くの観光客への“おもてなし”をする「乗りもの（公共交通）」について考えてみましょう。

冬のタクシーの課題と対策

先日、役場ではタクシー会社（倶知安、美空）や観光事業者と「観光客をあたたかく迎え入れる・住民の暮らしを支える」体制づくりについて懇談しました。話の中から、タクシーならではの課題や会社による新たな対策などが明らかになりました。

TAXI 	事業者	特徴
	町内 2 社 ・ 倶知安ハイヤー ・ 美空ハイヤー	町内の近距離移動に便利。出発地から目的地まで直接移動できる。 営業時間 6 時～深夜 2 時。保有車両 35 両（町内 2 社合計、ジャンボ車両含む）

・台数を増やせない？

「もっとタクシーが多ければ冬は困らないのに」と思うかもしれません。

しかし、夏は徒歩や自転車の利用が多く、タクシー利用が著しく減るため、冬のために台数を増やしても、夏も同じ台数を維持しなければならず、会社経営が難しいようです。

また、冬だけ札幌などのタクシー会社に応援いただくことが考えられますが、定められた倶知安区域外のタクシー会社になるため、この区域での営業が法律で認められていません。

タクシー会社にとって、町の人も観光客も同じ「大切なお客様」。どちらを優先することも難しく、限られた台数でやりくりしているのが現状のようです。

・タクシー会社の「おもてなし」の努力

町内タクシー会社では町に訪れるスキー観光客をあたたかく迎え入れるため、観光協会などとも連携して今まで以上に改善に努めることとしています。この取り組みが、街なかのタクシー利用の確保につながると考えられます。



病院や買い物などに気軽に利用できるタクシー

【タクシーの昨冬の状況と今冬の対応】

	昨冬の状況	今冬の対応
①外国人観光客の利用	新千歳空港などの長距離移動が目立ち、長時間、町内の台数が少ないことがしばしば。	関連会社が運行する町内と新千歳空港を結ぶシャトルバスのダイヤを改善し、同区間をタクシーからバス利用へ促す。
②外国語への対応	英語での配車予約による混乱。 施設名の聞き取り間違いによる目的地の誤り。	社員の英語教育の充実。 施設名に専用の番号（コード）を設けるなど、聞き取り間違いの防止を検討。
③ハイヤー会社の配車対応	新たに導入した配車予約システムの特徴を生かしきれず、目的地に遅れたり、早く着きすぎたりすることがしばしば。	システムに任せてばかりではなく、状況に応じて、効率的な配車にするよう教育。



今冬のタクシーのご利用にあたって



今年の冬は昨年以上に海外から観光客が多く訪れることが見込まれ、タクシー会社の努力を越えて、タクシーを利用したい時刻に利用しづらい場合があるかもしれません。

国際リゾート地として伸び続ける倶知安にあっては「さまざまな方がさまざまな目的で利用されている」ということをご理解いただき、ご利用いただくことが大切ではないでしょうか。

タクシー以外の乗りものたち

ここでは誰でも利用できる代表的な町内の乗りものを紹介します。それぞれ特徴がありますので、移動する目的によって使い分けることで私たちの暮らしはもっと快適になると思います。

●くっちゃんナイト号

	事業者	特徴
	倶知安観光協会	冬のひらふ地区に滞在する観光客を市街地の飲食店などに来てもらうことを目的として運行。冬は 12 月 1 日から 3 月 31 日まで。 17 時台～21 時台運行（4 往復）、2 回券 500 円。

・夜間のひらふ地区へ便利な乗りもの！

観光客向けの乗りものですが、誰でも利用でき、路線バスよりも手ごろな料金です。

この地区への路線バスは 18 時頃で終了しますので、21 時台までの夜間の移動に便利。市街地にいくつか停留所があるため、ひらふ地区以外の目的にも利用できます。添乗員も同乗しているので、安心して利用することができます。



昨シーズンは約 3 万 6 千人が利用し、観光客に大好評！

●じゃがりん号

事業者	特徴
	市街地の商店街・スーパー・病院等と住宅街を循環する乗合バス。 決まった時刻とルート・停留所により運行。 1回100円(中学生以下無料)、東西と南北2ルートで7時台～18時台(各10便)。

・街なかの用事足しには便利な乗りもの！

「急ぎの用事ではないけど、歩いて行くのはたいへん」の時に最適な乗りものが「じゃがりん号」。循環バスなので、予約いらずで誰でも停留所から乗れます。市街地の公共施設や病院のほとんどを停留所にしており、施設にはできるだけ玄関前に横付けするようにしています。

倶知安駅ではルート同士の乗り継ぎ(無料)がすべての便のできるの、100円あれば市街地のほぼ全域を移動できます。

JRや他の路線バスとの接続にも部分的に可能にしているため、例えば郊外にお住まいの方が市街地のスーパーや病院に行く時、時間帯によって倶知安駅からじゃがりん号に乗り替えて100円で移動することが可能です。



この表示が貼られているお店や病院などには、持ち歩きに便利なポケット時刻表を置いています。

★じゃがりん号ニュース★

この冬、じゃがりん号からいつもの音楽じゃない歌声が流れる!? クリスマスを祝う子どもたちの歌声がまちに響く…車内もクリスマスモードに♡

●路線バス

事業者	特徴
	町内運行3社(道南バス、ニセコバス、北海道中央バス) 町内の集落(大和方面、山田方面)や近隣町村の移動に便利。 小樽・札幌や伊達までの路線もある。 乗車距離に応じた運賃設定(150円～)

・住んでいるところによってはたいへん便利な乗りもの！

路線バスは郊外の人たちだけが利用するもの、とイメージしていませんか？

主ルートは国道5号線と276号線。停留所の近くにお住まいであれば、路線バスの利用をおすすめします！

理由は二つ。一つは、お住まいの地域によっては便数がじゃ

がりん号よりも多いこと。もう一つはじゃがりん号よりも早く目的地に着くこと。

お住まいの地域によっては、行きは「じゃがりん号」帰りは「路線バス」などの組み合わせにより、さらに利用の幅が広がります。

(参考例)

停留所	便数(平日)	倶知安駅までの乗車時間 【】内はじゃがりん号	倶知安駅までの料金	運行会社
金比羅寺前	13往復	約8分【12～42分】 じゃがりん号はノースパークタウンで比較	150円	ニセコバス
白樺団地	14.5往復	約10分【20～27分】 じゃがりん号は新白樺団地で比較	180円	道南バス
自衛隊正門前	5～10月：16往復 12～3月：19往復 4,11月：12往復	約7分	190円	道南バス ニセコバス

●鉄道(JR)

事業者	特徴
	定時制と大量輸送に優れた乗りもの。 小樽・札幌・新千歳空港方面、長万部、函館方面などの長距離移動に便利。

・定時制に優れた乗りもの！

鉄道による移動の最大のメリットは、ダイヤどおりに運行する「定時制」。予定が立てやすく、長距離移動にとても便利です。

朝早くから深夜まで運行しており、小樽・札幌方面へは一

日13本(折り返しは12本)、蘭越・長万部方面へは一日7本(折り返し9本)あります。

また、倶知安駅には駅員さんが常にいるので、運行状況の確認などができて、安心です。

冬道の車の運転は危険がいっぱい。
 公共交通を利用することで安全・安心に移動できます。
 この冬は、いろいろな乗りものに乗りましょう！